

商工費

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	企業立地の促進										事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部企業支援課															
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子ビジョン2022、産業振興マスタープラン〔第2期〕、企業立地支援条例															
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子ビジョン2022及び産業振興マスタープラン〔第2期〕に掲げる企業支援における企業誘致の推進を図る。															

行政コスト計算書

(単位 円)

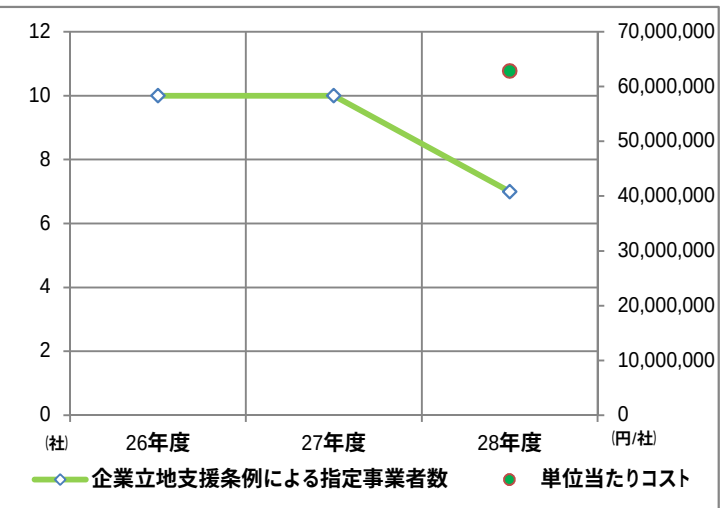
勘定科目			28年度	勘定科目			28年度
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	10,697,039	経常収入	市税	0
			賞与等引当金繰入額	866,162		保険料	0
			退職手当引当金繰入額	676,079		国庫支出金	0
			その他	0		都支出金	98,245,000
		小計	12,239,280	分担金及び負担金		0	
		物件費等	物件費	96,120		使用料及び手数料	0
			維持補修費	0		繰入金	0
			減価償却費	0		その他	0
			その他	0		小計	98,245,000
		小計	96,120	経常収支差額 (A)		△ 341,391,000	
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0		
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0		
		その他	0	特別収支差額 (B)	0		
	小計	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 341,391,000			
	小計	12,335,400	一般財源調整額 (D)	0			
	移転費用			427,300,600	一般財源充当額 (E)	14,588,161	
小計			439,636,000	再計 (C) + (D) + (E)	△ 326,802,839		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	企業立地・雇用促進奨励金等 [418,097,600円] 市内雇用促進加算金等 [4,325,000円] ものづくり企業立地継続補助金 [4,878,000円]	ものづくり産業集積強化支援事業費補助金 [94,993,000円] 都内ものづくり企業立地継続支援事業補助金 [3,252,000円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.73人	1.63人	1.46人	△ 0.17人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.73人	1.63人	1.46人	△ 0.17人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b-a)
①	企業立地支援条例による指定事業者数	10	10	7	△ 3
	単位当たりコスト	—	—	62,805,143	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	・大規模な事業用地が不足しており、サポートネットや不動産関係者とのネットワークを活かして用地情報の収集に努める。 ・昨年度に続き制度周知に注力する。	27年度末時点 の課題と対応	新たな事業用地を求める問合せが多いが、紹介できる土地が少ない状況となっている。
			未解決
主な 活動実績	・企業立地支援条例に基づき、7件の事業者を指定し、累計の指定実績が101件となった。 ・既指定事業者に奨励金を交付した。(奨励金交付事業者21件 422,422,600円) ・サポートネット活用実績 19件(平成27年度:21件) ・東京都、UR都市機構、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施した。 ・八王子インター北地区産業拠点施設意見交換会を3回開催したほか、産業拠点施設に関心のある企業へのヒアリングを行った。 ・市内企業に企業立地及び操業環境に関する調査を実施した。(土地利用計画課と共同調査)		
28年度評価	達成	次年度の展開	拡充

改善・改革の取組

内容	市内企業の流出防止に重点を置いた奨励金制度の拡充について検討を実施した。 奨励金の財源確保のため、新たな都補助について申請を行った。
----	---

今後の取組

29年度 目標	・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・奨励金制度の拡充を行う。(市内企業の立地継続支援策の充実)	28年度末 時点の課題	・奨励金制度の拡充。(市内企業の立地継続支援策の充実)
29年度の 取組	・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・引き続きサポートネットの活用を進める。 ・関係機関への制度周知を行う。 ・奨励金制度の拡充を行う。	30年度の 計画	・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・引き続きサポートネットの活用を進める。 ・関係機関への制度周知を行う。 ・期限が到来する企業立地支援条例の改正。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	中小企業等の活性化支援										事業類型	補助・負担・支援			
担当部課	産業振興部企業支援課														
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—	
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	産業振興マスタープラン第二期														
事業目的 (最終的に目指す状態)	地域経済活性化のための中小企業支援														

行政コスト計算書

(単位 円)

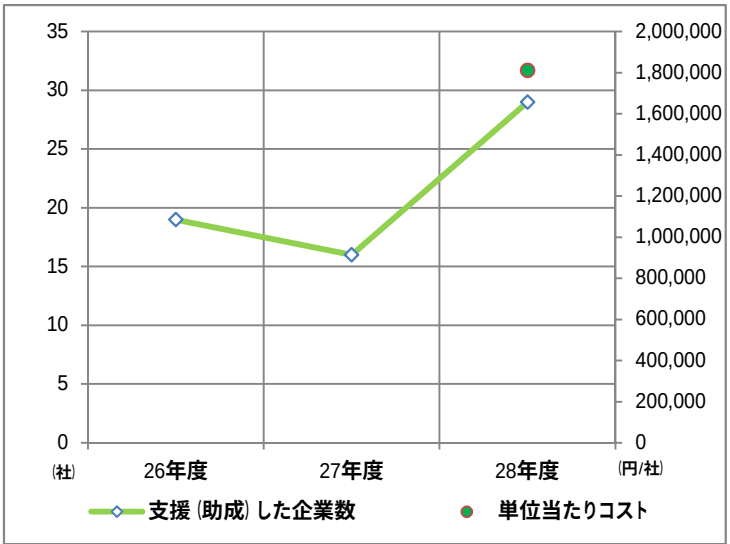
勘定科目			28年度	勘定科目		28年度		
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	8,425,751	経常収入	市税	0	
			賞与等引当金繰入額	682,250		保険料	0	
			退職手当引当金繰入額	750,256		国庫支出金	0	
			その他	0		都支出金	0	
		小計		9,858,257		分担金及び負担金	0	
		物件費等	物件費	3,310,636		使用料及び手数料	0	
			維持補修費	0		繰入金	0	
			減価償却費	0		その他	37,968	
			その他	0		小計		37,968
		小計		3,310,636		経常収支差額 (A)		△ 52,487,806
		その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
			徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
			その他	0		特別収支差額 (B)		0
			小計			0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	
	小計		13,168,893	一般財源調整額 (D)		0		
移転費用		39,356,881	一般財源充当額 (E)		52,718,201			
小計		52,525,774	再計 (C) + (D) + (E)		230,395			

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	小規模事業経営支援事業補助金 [9,890,000円] 販路開拓支援補助金 [3,670,000円] サイバーシルクロード八王子 (事業費) 補助金 [6,602,381円] サイバーシルクロード八王子 (人件費) 補助金 [15,953,000円] サイバーシルクロード八王子管理運営委託料 [2,553,718円] 維持管理負担金 [3,241,500円]	光熱水費負担金 [37,968円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.85人	1.25人	1.15人	△ 0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.85人	1.25人	1.15人	△ 0.10人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	支援 (助成) した企業数	19	16	29	13
	単位当たりコスト	—	—	1,811,234	—
②	相談実施件数 (巡回+窓口)	2,459	2,309	2,767	458
	単位当たりコスト	—	—	18,983	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	・サイバーシルクロードにおいて新産業創出につながるセミナーを新たなテーマで1件開催する。 ・サイバーシルクロードにおいて前年度着手した、クラウドファンディングと、農商工連携を更に進める。 ・昨年度を上回る件数の展示会出展補助を行う。	27年度末時点 の課題と対応	新産業創出に取り組むサイバーシルクロード八王子 事業の充実
			解決
主な 活動実績	・サイバーシルクロード八王子事業への支援 後継者塾の実施(全11回、参加者10名)、創業セミナーの実施(創業スクール全5日、参加者10名、ほか)、マネジメントカフェの開催(計2回、65名参加) ・市内中小企業の販路拡大支援 出展補助企業数 29社 3,670,000円 出展アドバイス企業数 8社 254,880円 ・八王子商工会議所中小企業相談所が行う「経営改善普及事業」の経費の一部を補助		
28年度評価	達成	次年度の展開	拡充

改善・改革の取組

内容	新たに女性のための創業セミナーを2回開催した。
----	-------------------------

今後の取組

29年度 目標	・クラウドファンディングと、農商工連携を更に進める。 ・昨年度を上回る件数の展示会出展補助を行う。	28年度末 時点の課題	新産業創出に取り組むサイバーシルクロード八王子 事業の更なる充実
29年度の 取組	・市内中小企業の販路開拓支援 ・サイバーシルクロード八王子事業への支援 ・八王子商工会議所への補助金の継続	30年度の 計画	・市内中小企業の販路開拓支援 ・サイバーシルクロード八王子事業への支援 ・八王子商工会議所への補助金の継続

事業概要		事務事業評価シート (平成28年度事業)													
事務事業名	繊維産業の振興								事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部企業支援課														
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②	—			
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子市繊維産業振興事業補助金交付要綱														
事業目的 (最終的に目指す状態)	地場産業である八王子の繊維産業の振興を図るため、繊維産業振興団体が展開する新製品の開発や販路拡大等の活動を支援する。														

行政コスト計算書					(単位 円)		
勘定科目			28年度	勘定科目		28年度	
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	219,804	経常収入	市税	0
			賞与等引当金繰入額	17,798		保険料	0
			退職手当引当金繰入額	19,572		国庫支出金	0
			その他	0		都支出金	0
		小計		257,174		分担金及び負担金	0
		物件費等	物件費	264,532		使用料及び手数料	0
			維持補修費	0		繰入金	0
			減価償却費	0		その他	0
			その他	0		小計	0
		小計		264,532		経常収支差額 (A)	△ 2,483,706
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0		
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0		
		その他	0	特別収支差額 (B)	0		
		小計	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 2,483,706		
	小計		521,706	一般財源調整額 (D)	0		
	移転費用		1,962,000	一般財源充当額 (E)	2,489,716		
	小計		2,483,706	再計 (C) + (D) + (E)	6,010		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	繊維産業振興補助金 [1,962,000円] 伝統織物技術継承経費 [264,532円]	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.10人	0.03人	0.03人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.10人	0.03人	0.03人	0.00人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b－a)
①	単位当たりコスト	—	—	—	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。 ・旧浅川支所の一部を、市内の機織り、染物の技術を伝承する団体に活用してもらう。	27年度末時点 の課題と対応	・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、新ブランド開発などの新たな事業とを同時に進める必要がある。 ・織物のまちであることの認知度を高める必要がある。
解決			
主な 活動実績	・「学生ネクタイデザインコンペ」を実施し、美術系大学等からの応募作品の中から15点を選考。特に優秀な作品については八王子織物総合展において表彰した。その他八王子織物総合展では多摩美術大学との産学連携成果品や八王子織物の製品を展示した。 ・ジャパンクリエーション(展示会)に市内延べ19企業が出展し来場企業24社からの受注につなげた。 ・後継者育成事業として多摩織塾開催のほか、テキスタイルネットワークジャパン展への後継事業者の出展及び全国の後継事業者との人材交流を実施した。 ・八王子はた織伝承会、多摩シルクライフ21研究会それぞれの団体が年間を通じて週1回の活動を継続的に行い、機織りや染め物の伝統文化継承のための活動を行った。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	市制100周年記念グッズの作成を織物工業組合に提案。市制100周年記念ロゴ入りネクタイをPR(プレスリリース、庁舎内展示等)
----	--

今後の取組

29年度 目標	・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。	28年度末 時点の課題	・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、新ブランド開発などの新たな事業とを同時に進める必要がある。 ・織物のまちであることの認知度を高める必要がある。
29年度の 取組	・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。	30年度の 計画	・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	起業支援										事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部企業支援課															
基本計画	編	5	章	2	施策番号	40	新産業の創出					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	産業振興マスタープラン第二期															
事業目的 (最終的に目指す状態)	地域経済活性化のため、新たな活力の創出につながる新規企業創業を促す。															

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目			28年度	勘定科目		28年度
経常費用	人件費	職員給与費	1,099,011	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	88,989		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	97,859		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	0
		小計	1,285,859		分担金及び負担金	0
	物件費等	物件費	309,000		使用料及び手数料	0
		維持補修費	0		繰入金	0
		減価償却費	0		その他	0
		その他	0		小計	0
		小計	309,000	経常収支差額 (A)	△ 1,594,859	
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0	
		その他	0	特別収支差額 (B)	0	
		小計	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 1,594,859	
小計		1,594,859	一般財源調整額 (D)	0		
移転費用		0	一般財源充当額 (E)	1,624,911		
小計		1,594,859	再計 (C) + (D) + (E)	30,052		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	アドバイザー謝礼 [309,000円]	

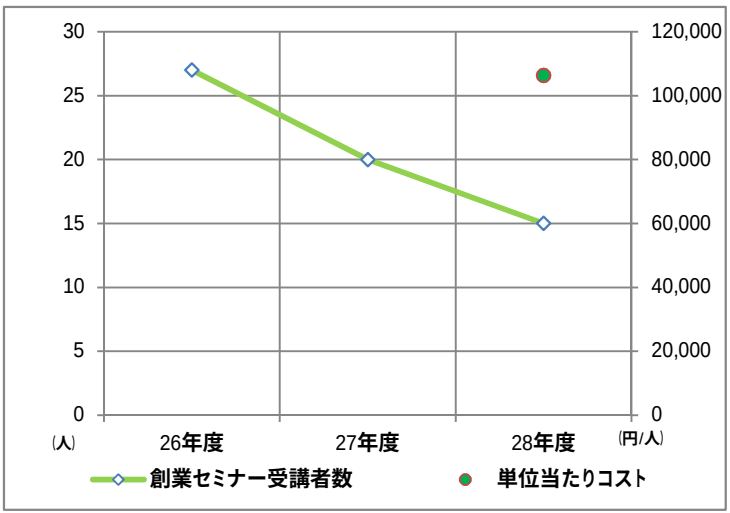
事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.25人	0.15人	0.15人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.25人	0.15人	0.15人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b－a)
①	創業セミナー受講者数	27	20	15	△ 5
	単位当たりコスト	—	—	106,324	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
	単位当たりコスト	—	—	—	—

利用状況・コストの推移



事業実績

28年度 目標	・起業家二名に対し、一名につき年間12回の専門家による支援を実施する。	27年度末時点 の課題と対応	製造業を目指す起業・創業者への支援
			解決
主な 活動実績	・アドバイザーによる伴走支援 延べ30回 (対象:28年度2名社、新規2名社)		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	起業後の大きな事業展開が期待されるベンチャービジネス等を目指す者を発掘し支援する。
----	---

今後の取組

29年度 目標	・起業家二名に対し、一名につき年間12回の専門家による支援を実施する。	28年度末 時点の課題	起業後の大きな事業展開が期待されるベンチャービジネス等を目指す者を発掘し支援すること。
29年度の 取組	ビジネスお助け隊アドバイザーによる伴走支援の実施	30年度の 計画	ビジネスお助け隊アドバイザーによる伴走支援の実施

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	中小企業新商品開発認定制度の運営										事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部企業支援課															
基本計画	編	5	章	2	施策番号	40	新産業の創出					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	産業振興マスタープラン第二期、地方自治法施行令第167条の2、八王子市中小企業新商品開発認定制度実施要綱															
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内中小企業の優れた新商品の販路開拓の促進															

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目			28年度	勘定科目		28年度
経常費用	人件費	職員給与費	6,594,065	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	533,936		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	587,158		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	0
		小計	7,715,159		分担金及び負担金	0
	物件費等	物件費	610,773		使用料及び手数料	0
		維持補修費	0		繰入金	0
		減価償却費	0		その他	0
		その他	0		小計	0
		小計	610,773	経常収支差額 (A)	△ 8,325,932	
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0	
		その他	0	特別収支差額 (B)	0	
		小計	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 8,325,932	
小計		8,325,932	一般財源調整額 (D)	0		
移転費用		0	一般財源充当額 (E)	8,506,239		
小計		8,325,932	再計 (C) + (D) + (E)	180,307		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	懇談会参加者謝礼 [30,000円] カタログ・ポスター印刷費 [260,442円] 技術審査業務委託料 [169,200円] 展示会出展料 [146,448円]	

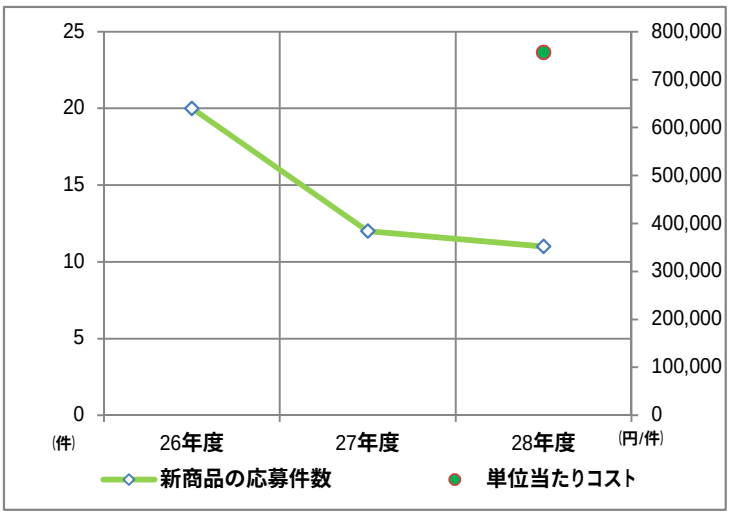
事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.69人	0.90人	0.90人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.69人	0.90人	0.90人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	新商品の応募件数	20	12	11	△ 1
	単位当たりコスト	—	—	756,903	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

利用状況・コストの推移



事業実績

28年度 目標	・15件の商品を認定する。	27年度末時点 の課題と対応	随意契約による認定商品の購入実績を増やし、使用評価を実施すること。
			未解決
主な 活動実績	八王子市新商品開発認定制度を実施し、8商品を認定した。 認定商品カタログ及び東京都の産業交流展に展示し、認定商品の周知を図った。		
28年度評価	やや不十分	次年度の展開	改善

改善・改革の取組

内容	・認定する商品を増やす。
----	--------------

今後の取組

29年度 目標	・15件の商品を認定する。	28年度末 時点の課題	随意契約による認定商品の購入実績を増やし、使用評価を実施すること。
29年度の 取組	八王子市中小企業新商品開発認定制度の実施	30年度の 計画	八王子市中小企業新商品開発認定制度の実施

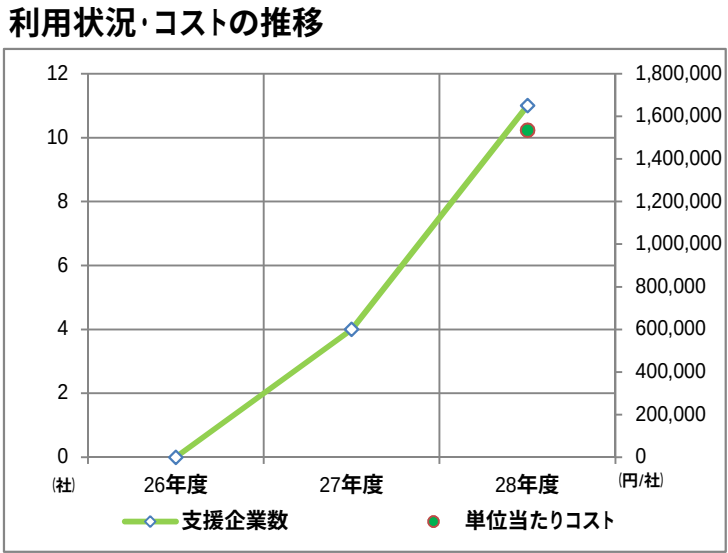
事業概要		事務事業評価シート (平成28年度事業)					
事務事業名	海外経済交流の促進					事業類型	補助・負担・支援
担当部課	産業振興部企業支援課						
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援
予算科目	会計	一般会計	款	07	商工費	項	01
根拠法令等	八王子ビジョン2022、産業振興マスタープラン【第2期】						
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子ビジョン2022及び産業振興マスタープラン【第2期】に掲げる企業支援における市内企業の海外経済交流の促進を図る。						

行政コスト計算書		(単位 円)					
勘定科目		28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	7,473,274	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	605,127		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	596,340		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	8,000,000	
		小計	8,674,741		分担金及び負担金	0	
	物件費等	物件費	8,207,612		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	0	
		減価償却費	0		その他	76,875	
		その他	0		小計	8,076,875	
		小計	8,207,612		経常収支差額 (A)	△ 8,805,478	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	0		特別収支差額 (B)	0	
		小計	0		本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 8,805,478	
	移転費用	0			一般財源調整額 (D)	0	
	小計	16,882,353			一般財源充当額 (E)	9,093,392	
					再計 (C) + (D) + (E)	287,914	

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	海外経済交流委託料 [8,000,000円]	都支出金 [8,000,000円]

事業の人員体制				
	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.00人	0.71人	1.02人	0.31人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.00人	0.71人	1.02人	0.31人

指標と単位当たりコスト					
	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b－a)
①	支援企業数		4	11	7
	単位当たりコスト	—	—	1,534,759	—
②					
	単位当たりコスト	—	—	—	—
③					
	単位当たりコスト	—	—	—	—



事業実績

28年度 目標	・台湾展示会出展予定企業向けセミナーの開催 ・市内中小企業の台湾展示会出展	27年度末時点 の課題と対応	・東京都補助金（人づくり・人材確保支援事業）を活用した事業実施は28年度までの計画となっており、新たな事業展開を検討する必要がある。
解決			
主な 活動実績	・台湾展示会出展予定企業向けセミナーの開催（開催回数3回）及び事業報告会 ・情報発信業務（PRレポートの作成（11社分）、台湾企業へのメール配信（のべ配信件数26820件）） ・市内中小企業の台湾展示会出展（9社） ・台湾企業との商談会の開催（商談件数34件） ・販路開拓業務（現地拠点（台湾貿易センター）での製品展示、市内企業がフォローを希望する台湾企業30社に対して商談会後に問い合わせを実施しフォローアップ）		
28年度評価	達成	次年度の展開	拡充

改善・改革の取組

内容	具体的に商談を行う機会を提供した。セミナーの開催により、事業者に対する事前、事後フォローを実施した。
----	--

今後の取組

29年度 目標	・台湾展示会出展予定企業向けセミナーの開催（事前勉強会、商談会前・後フォロー） ・市内中小企業の台湾での商談会実施	28年度末 時点の課題	商談から事業に繋がる機会が十分に得られなかった。
29年度の 取組	・台湾商談会予定企業向けセミナーの開催（事前勉強会、商談会前・後フォロー） ・台湾商談会へ向けた市内中小企業の情報発信 ・市内中小企業が参加する台湾での商談会実施 ・台湾展示会でのパネル展示の実施	30年度の 計画	・台湾商談会予定企業向けセミナーの開催（事前勉強会、商談会前・後フォロー） ・台湾商談会へ向けた市内中小企業の情報発信 ・市内中小企業が参加する国内及び台湾での商談会実施

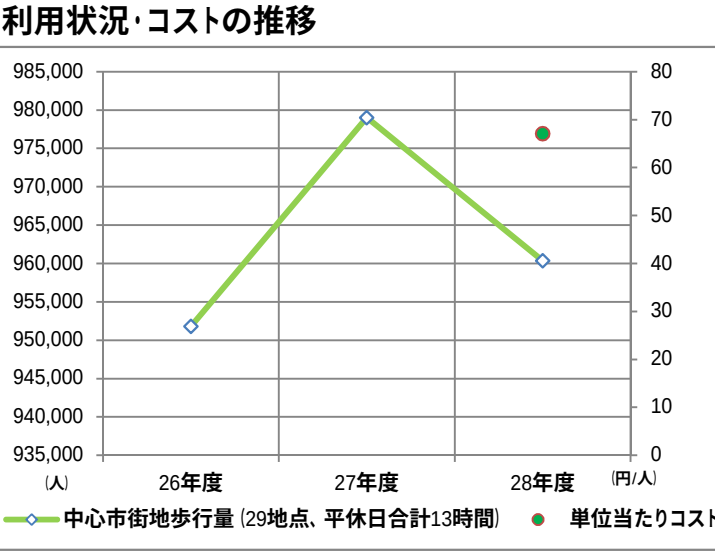
事業概要		事務事業評価シート (平成28年度事業)														
事務事業名	中心市街地の活性化										事業類型	その他				
担当部課	拠点整備部中心市街地政策課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		③	④		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	中心市街地活性化基本計画															
事業目的 (最終的に目指す状態)	魅力ある個店の増加や空き店舗の減少、また、中心市街地全体に来訪者が足を運ぶような新たな仕組みを創出することで、中心市街地の賑わいを生み出し、まちの回遊性を向上させる。															

行政コスト計算書					(単位 円)		
勘定科目			28年度	勘定科目		28年度	
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	17,291,105	経常収入	市税	0
			賞与等引当金繰入額	1,400,098		保険料	0
			退職手当引当金繰入額	4,165,661		国庫支出金	14,985,253
			その他	0		都支出金	2,300,000
		小計	22,856,864	分担金及び負担金		0	
		物件費等	物件費	34,250,898		使用料及び手数料	0
			維持補修費	0		繰入金	0
			減価償却費	1,039,583		その他	0
			その他	0		小計	17,285,253
		小計	35,290,481	経常収支差額 (A)		△ 47,129,732	
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0		
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0		
		その他	0	特別収支差額 (B)	0		
		小計	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 47,129,732		
	小計	58,147,345	一般財源調整額 (D)	0			
	移転費用			6,267,640	一般財源充当額 (E)	52,339,974	
	小計			64,414,985	再計 (C) + (D) + (E)	5,210,242	

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	おもてなし通信環境整備・運用業務委託料 [9,183,943円] オープンカフェ実施業務委託料 [4,615,768円] おもてなし通信環境情報発信サービス業務委託料 [2,998,080円]	-

事業の人員体制				
	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.87人	1.50人	1.96人	0.46人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.40人	0.40人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.87人	1.50人	2.36人	0.86人

指標と単位当たりコスト				
指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b-a)
① 中心市街地歩行量 (29地点、平休日合計13時間)	951,783	979,015	960,367	△ 18,648
単位当たりコスト	—	—	67	—
② 単位当たりコスト	—	—	—	—
③ 単位当たりコスト	—	—	—	—



事業実績

28年度 目標	来街者のまちなかでの利便性の向上や、中心市街地全体に足を運ぶような新たな仕組みの構築等により中心市街地の賑わいを生み出し、まちの回遊性を向上させる。	27年度末時点 の課題と対応	産業交流拠点の整備やオリンピック等により外国人を始めとした来街者の増加が見込まれている中で、必要とされているWi-Fi環境が整備できていない。 また、今後の中心市街地の活性化を促進するためには、行政だけではなく民間の手による地域の管理（エリアマネジメント）が必要である。
			未解決
主な 活動実績	10月～11月にかけて西放射線ユーロードの新たな活用を目指したオープンカフェを実施したほか、八王子駅周辺の6ヶ所にWi-Fi環境を整備し、12月からサービスの提供を開始した。また、昨年度繰り越したまちなか交流・活動拠点の整備事業については、8月～3月で工事を実施し、選定した運営団体への貸与、開設に向け準備を開始した。		
28年度評価	達成	次年度の展開	改善

改善・改革の取組

内容	空き店舗改修費補助金や魅力づくり支援補助金などの申請に対する懇談会をより効率的に進めるとともに、的確な意見をもらえるようにするため、申請内容を端的にまとめたシートを作成し、活用した。
----	---

今後の取組

29年度 目標	中心市街地のにぎわい創出や回遊性の促進につなげるため、来街者や店舗等、中心市街地の現況を把握するとともに、既存事業の見直しやブラッシュアップを行う。	28年度末 時点の課題	Wi-Fi自体の利用状況に比べ、連携ウェブサイトの利用状況が少ない状態である。また、中心市街地の施策の構築等に必要な中心市街地における来街者等の現況を把握するデータが不足している。
29年度の 取組	全国都市緑化はちおうじフェアと連携し、西放射線ユーロードでオープンカフェを実施する。また、昨年度末の課題である各種データの不足については、内容や必要なデータを精査した上で調査を実施する。Wi-Fiと連携ウェブサイトの利用促進に向け、周知を強化する。	30年度の 計画	29年度に策定予定の中心市街地活性化基本計画を踏まえ、事業の構築、再構築を行う。29年度に行う中心市街地の現況に関する調査を引き続き実施し、データの分析を行う。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	事業資金助成										事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部産業政策課															
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	事業資金融資あっ旋条例、事業資金融資あっ旋要綱、マル経融資利子補給金補助金交付要綱															
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資を あっ旋することによって、小規模事業者の自主的な経済活動を促進し、もって小規模事業の育成及び振興に寄与す る。															

行政コスト計算書

(単位 円)

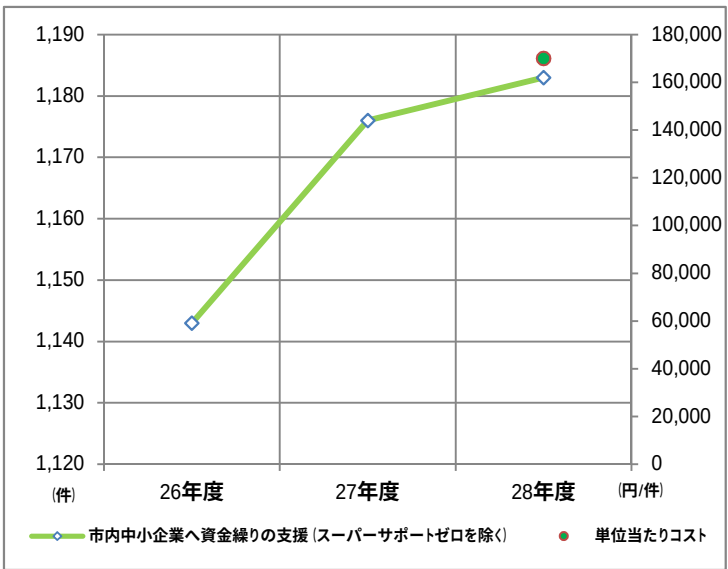
勘定科目				28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	7,253,477		経常収入	市税	0	
			賞与等引当金繰入額	587,334			保険料	0	
			退職手当引当金繰入額	645,876			国庫支出金	0	
			その他	6,987,217			都支出金	0	
			小計	15,473,904			分担金及び負担金	0	
		物件費等	物件費	1,359,390			使用料及び手数料	0	
			維持補修費	0			繰入金	0	
			減価償却費	373,800			その他	0	
			その他	0			小計	0	
			小計	1,733,190			経常収支差額 (A)	△ 201,119,451	
		その他の業務費用	支払利息	0			特別費用	0	
			徴収不能引当金繰入額	0			特別収入	0	
			その他	0			特別収支差額 (B)	0	
		小計	0		本年度収支差額 (A) + (B) = (C)		△ 201,119,451		
		小計	17,207,094		一般財源調整額 (D)		0		
	移転費用			183,912,357		一般財源充当額 (E)	200,943,981		
小計			201,119,451		再計 (C) + (D) + (E)	△ 175,470			

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	信用保証料補助金 [80,663,143円] 利子補給金 [103,249,214円] 臨職賃金 [1,138,876円]	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.15人	0.77人	0.99人	0.22人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.15人	0.77人	0.99人	0.22人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	市内中小企業へ資金繰りの支援 (スーパーサポートゼロを除く)	1,143	1,176	1,183	7
	単位当たりコスト	—	—	170,008	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	中小企業の経営を安定化し、効率的な経営を実現するための支援を引き続き行う。	27年度末時点 の課題と対応	創業支援融資における否決率が、他の融資に比べて高くなっている。
			未解決
主な 活動実績	市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資をあっ旋し、融資に伴う信用保証料の補助や利子補給を行った。また、八王子商工会議所等が行う経営指導（6か月間）を修了した中小企業に対し、日本政策金融公庫の低利融資にかかる利子の一部を補助した。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	29年度の利子補給は、交付決定時点で市外移転、廃業等の場合、実施しないことを要綱で明確にした。 また、29年度より融資限度額の変更をはじめ、経営改善事業資金（借換）を加えるなど、小規模事業者の自主的な経済活動を促進する制度に一部改正した。
----	--

今後の取組

29年度 目標	中小企業が安定的、効率的な経営ができるよう事業資金をあっ旋するほか、信用保証料補助等の支援を引き続き行う。	28年度末 時点の課題	都制度による信用保証料補助を活用できるよう引き続き調査研究する。
29年度の 取組	経営改善事業資金の運用方法を明確にする。（借り換えできる場合、できない場合の考え方等）	30年度の 計画	中小企業が安定的、効率的な経営ができる事業資金あっ旋制度を運用していく。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	商店街の振興										事業類型	イベント				
担当部課	産業振興部産業政策課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		③	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	平成28年度八王子市はばたけ商店街事業補助金交付要綱・八王子市輝く個店グループ支援事業補助金交付要綱・商店街振興組合法・八王子市産業振興会議設置要綱・八王子市商店街防犯設備整備事業補助金交付要綱															
事業目的 (最終的に目指す状態)	商店街の整備、店舗の集団化、共同店舗等の整備等の事業の実施を円滑にし、中小小売商業者の経営の近代化を促進すること等により、中小小売商業の振興を図る。															

行政コスト計算書

(単位 円)

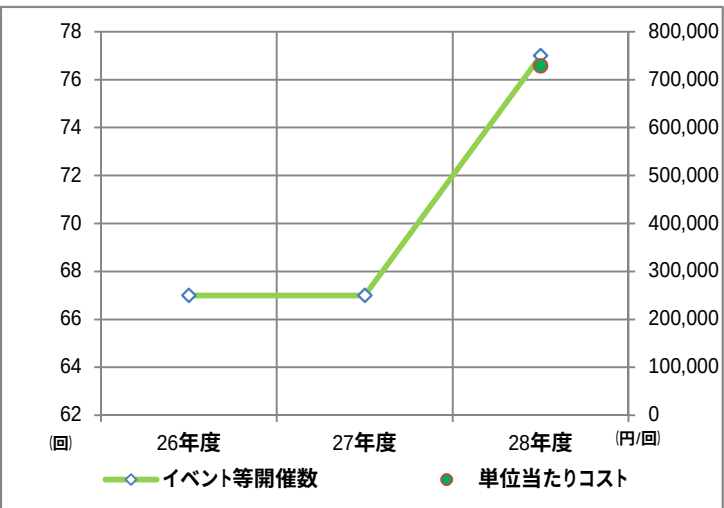
勘定科目			28年度	勘定科目		28年度	
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	11,722,783	経常収入	市税	0
			賞与等引当金繰入額	949,218		保険料	0
			退職手当引当金繰入額	5,466,579		国庫支出金	0
			その他	0		都支出金	21,112,000
		小計		18,138,580		分担金及び負担金	0
		物件費等	物件費	140,000		使用料及び手数料	0
			維持補修費	0		繰入金	0
			減価償却費	0		その他	0
			その他	0		小計	
		小計		140,000		経常収支差額 (A)	
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用		0	
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入		0	
		その他	0	特別収支差額 (B)		0	
	小計		0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)		△ 34,977,580	
小計		18,278,580	一般財源調整額 (D)		0		
移転費用		37,811,000	一般財源充当額 (E)		29,949,944		
小計		56,089,580	再計 (C) + (D) + (E)		△ 5,027,636		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	補助金 [36,742,000円]	都支出金 [17,631,000円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.37人	1.08人	1.60人	0.52人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.37人	1.08人	1.60人	0.52人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	イベント等開催数	67	67	77	10
	単位当たりコスト	—	—	728,436	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	更なる共同化を進め、相乗効果を生むイベント作り。	27年度末時点 の課題と対応	複数のイベントを同一日開催とすることで、多くの来街者を生み出すこと。
			解決
主な 活動実績	はばたけ商店街補助事業 28年度イベント事業 38商店会 1商店会連合会 商工会議所 活性化事業 6商店会 輝く個店グループ支援事業 28年度 2事業		
28年度評価	達成	次年度の展開	改善

改善・改革の取組

内容	共同化を進めた。
----	----------

今後の取組

29年度 目標	より集客力の高い共同イベント化	28年度末 時点の課題	体力の無い小規模商店街への支援策
29年度の 取組	相乗効果の検証と、より効果的な補助のあり方の検討に着手する。	30年度の 計画	東京オリンピック、パラリンピックを契機にインバウンドを進める。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	地域産業振興推進										事業類型	調査・企画立案				
担当部課	産業振興部産業政策課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	産業振興の体制強化					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	地方自治法、地方公務員法、非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例															
事業目的 (最終的に目指す状態)	市の産業振興全般に関して、必要に応じ市長に進言し又は助言する。															

行政コスト計算書

(単位 円)

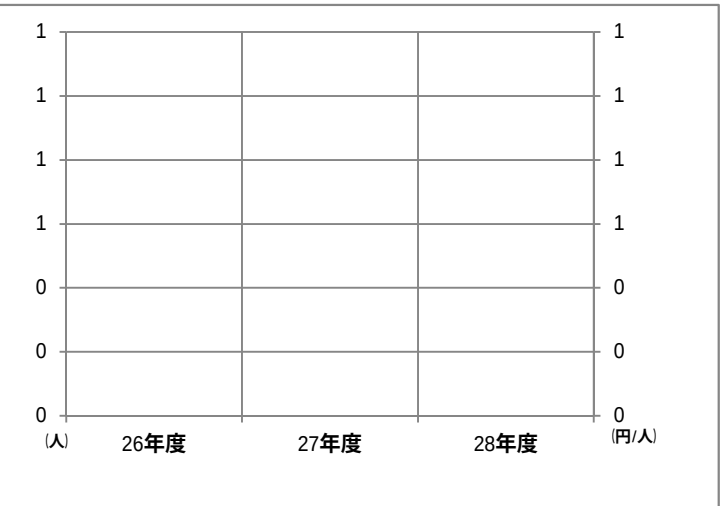
勘定科目				28年度				勘定科目				28年度			
経常費用	人件費	職員給与費	職員給与費		7,912,879	経常収入		市税	市税		0	保険料	保険料		0
			賞与等引当金繰入額		640,722				保険料		0		国庫支出金		0
			退職手当引当金繰入額		2,553,277				国庫支出金		0		都支出金		0
			その他		1,560,000				都支出金		0		分担金及び負担金		0
		小計			12,666,878				使用料及び手数料		0		繰入金		0
	業務費用	物件費等	物件費		2,490,365				繰入金		0	その他	その他		3,507,217
			維持補修費		0				小計		3,507,217		経常収支差額 (A)		△ 12,690,026
			減価償却費		0				特別費用		0		特別収入		0
			その他		0				特別収入		0		特別収支差額 (B)		0
		小計			2,490,365				特別収支差額 (B)		0		本年度収支差額 (A) + (B) = (C)		△ 12,690,026
	その他の業務費用	支払利息	支払利息		0				一般財源調整額 (D)		0		一般財源充当額 (E)		14,911,965
			徴収不能引当金繰入額		0				再計 (C) + (D) + (E)		2,221,939				
			その他		0										
		小計			0										
	小計				15,157,243										
	移転費用				1,040,000										
	小計				16,197,243										

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	報酬 [1,676,000円] 使用料 [322,169円] 需用費 [275,004円]	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.65人	0.70人	0.73人	0.03人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.65人	0.70人	1.08人	0.38人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	単位当たりコスト	—	—	—	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	産業振興会議に発展させ、より幅広い見識を持ったメンバーで新たな産業振興の方向性を決定する。	27年度末時点 の課題と対応	より幅広い意見聴取のための会議体を新設するための人選
			解決
主な 活動実績	28回のMICE会議を行い、MICE推進のための方向性と組織作りについて議論した。 産業振興会議を2回開催し、産業振興マスタープランの改定など産業振興施策について議論した。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	庁内検討会と産業振興会議における相互補充の役割の明確化
----	-----------------------------

今後の取組

29年度 目標	6次産業化、地域ブランドの創出の検討	28年度末 時点の課題	社会情勢の変化への対応
29年度の 取組	産業振興マスタープラン後半5年間の重点取組、 実行計画の策定 都市緑化フェアや100周年との協働事業	30年度の 計画	MICE戦略及びソーシャルビジネスの活性化を柱とする重点施策の展開

事業概要		事務事業評価シート (平成28年度事業)													
事務事業名	(仮称) MICE都市推進センター設立準備								事業類型	調査・企画立案					
担当部課	産業振興部産業政策課														
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	④	—			
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	産業振興マスタープラン [第2期]、観光産業振興会議報告書														
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子商工会議所との連携により設立した八王子MICE都市推進センター準備室に対する補助を実施し、本市の観光資源・産業資源を生かしたMICE誘致戦略を展開することで、中心市街地をはじめとした市域への一層の誘客を図りまちのにぎわい創出につなげるとともに、経済波及効果を生み出していく。														

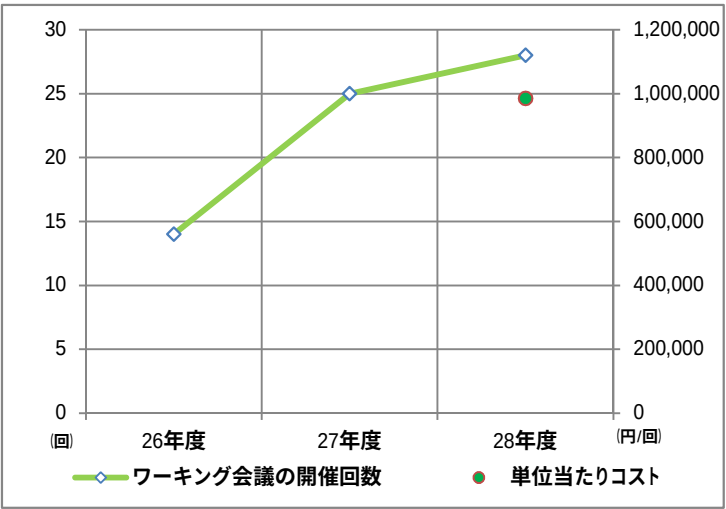
行政コスト計算書				(単位 円)			
勘定科目				28年度			
経常費用	人件費	職員給与費	6,154,461	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	498,340		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	548,014		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	1,500,000	
	小計		7,200,815		分担金及び負担金	0	
	物件費等	物件費	571,692		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	0	
		減価償却費	0		その他	285,846	
		その他	0		小計	1,785,846	
	小計		571,692		経常収支差額 (A)	△ 25,799,364	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	0		特別収支差額 (B)	0	
	小計		0		本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 25,799,364	
	小計		7,772,507		一般財源調整額 (D)	0	
	移転費用		19,812,703		一般財源充当額 (E)	25,967,651	
	小計		27,585,210		再計 (C) + (D) + (E)	168,287	

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	八王子MICE都市推進センター準備室補助金 [19,812,703円] 開発・交流プラザ建物借上料 [528,132円]	多摩の魅力発信支援補助金 [1,500,000円] 八王子MICE都市推進センター準備室 建物使用料 [285,447円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.68人	0.70人	0.84人	0.14人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.68人	0.70人	0.84人	0.14人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	ワーキング会議の開催回数	14	25	28	3
	単位当たりコスト	—	—	985,186	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	・一般観光部門とコンベンション部門の両機能を統合した新組織を立ち上げる。 ・今後の交流人口創造に向けた新たな観光事業の展開を図るとともに、MICE誘致活動を始動する。	27年度末時点 の課題と対応	・「基本構想」及び「実施計画」を踏まえ、MICE (Meeting (会議・研修・セミナー)、Incentive tour (報奨・招待旅行)、Convention、Conference (大会・学会・国際会議)、Exhibition (展示会) の重点分野の早期選定 ・新組織における中長期的な人員配置、人材育成
			未解決
主な 活動実績	MICE誘致に向け、MICEセールス、開催支援、事業者向けレクチャー等を実施したほか、プロモーション事業として、ホームページをはじめ、MICEの営業冊子である八王子観光コンベンションガイドブックを制作した。 また、民間からの出向者を配置し、本格的な営業を開始した。		
28年度評価	達成	次年度の展開	拡充

改善・改革の取組

内容	八王子観光協会、八王子商工会議所及び市で構成する観光振興及びMICE推進に係る組織のあり方検討会議で、一般観光部門とコンベンション部門の両機能を統合した新組織を立ち上げることを確認し、29年4月から(公社)八王子観光コンベンション協会が発足した。
----	---

今後の取組

29年度 目標	MICE誘致件数 5件	28年度末 時点の課題	MICE開催者に対する支援内容の確立 中長期的な人員体制
29年度の 取組	・MICE誘致事業 - 商品開発、ネットワーク構築の推進 ・シティプロモーション事業 - ARカードの制作 ・自主事業(育成型事業) - ニーズ、シーズの把握	30年度の 計画	MICE誘致件数 6件

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	観光資源の開発・活用										事業類型	その他				
担当部課	産業振興部 観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		④	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	覚書（地権者と市の間で取り交わしている）、平成28年度（公社）八王子観光協会に対する補助金交付要綱、観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例															
事業目的 （最終的に目指す状態）	本市の緑豊かな自然をはじめ、長い歴史と伝統文化など、来訪者を魅了する観光資源を発見・開発・活用し、まちのイメージアップによる来訪者の増加を図る。															

行政コスト計算書

(単位 円)

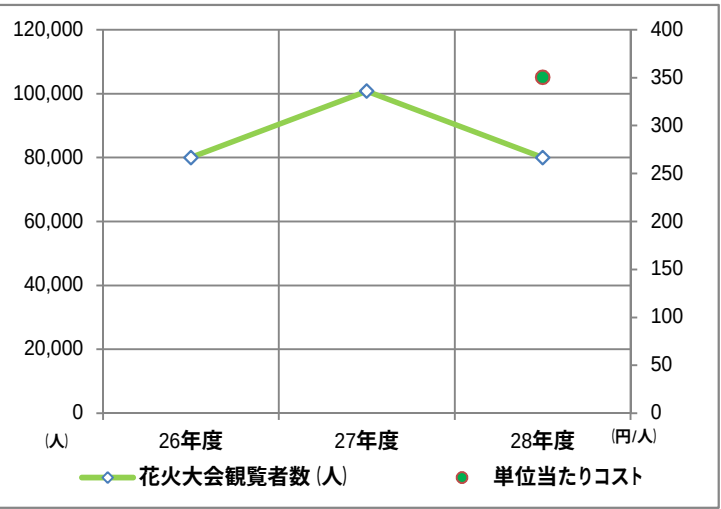
勘定科目			28年度	勘定科目		28年度	
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	9,451,493	経常収入	市税	0
			賞与等引当金繰入額	765,307		保険料	0
			退職手当引当金繰入額	1,363,025		国庫支出金	0
			その他	0		都支出金	0
		小計	11,579,825	分担金及び負担金		0	
		物件費等	物件費	8,946,360		使用料及び手数料	4,117,680
			維持補修費	259,200		繰入金	0
			減価償却費	0		その他	866,956
			その他	0		小計	4,984,636
		小計	9,205,560	経常収支差額 (A)		△ 23,031,968	
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0		
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0		
		その他	0	特別収支差額 (B)	0		
	小計	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 23,031,968			
	小計	20,785,385	一般財源調整額 (D)	0			
	移転費用		7,231,219	一般財源充当額 (E)	23,708,235		
	小計		28,016,604	再計 (C) + (D) + (E)	676,267		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	花火大会補助金 [6,785,000円] 管理委託料 (梅のみ) [3,697,800円]	高尾山麓駐車場使用料 [4,117,680円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.18人	1.44人	1.29人	0.15人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.18人	1.44人	1.29人	△ 0.15人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	花火大会観覧者数 (人)	80,000	100,800	80,000	△ 20,800
	単位当たりコスト	—	—	350	—
②	木下沢梅林来訪者数 (人)	7,880	8,399	14,603	6,204
	単位当たりコスト	—	—	1,919	—
③	—	—	—	—	—
	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	事業遂行により、効果的に観光資源の発見・開発・活用が図られており、来訪者数が増加している。花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計年間90,000人	27年度末時点 の課題と対応	今後も引き続き適正な観光資源の維持管理が求められる。
			解決
主な 活動実績	・八王子花火大会等への補助事業を実施した。 ・滝山観桜林、高尾梅の里等の環境維持事業を実施し、観覧者等の安全確保・交通誘導などに努め、賑わいを創出した。 ・花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計95,000人（年間）		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	
----	--

今後の取組

29年度 目標	事業遂行により、効果的に観光資源の発見・開発・活用が図られており、来訪者数が増加している。花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計年間95,000人。	28年度末 時点の課題	今後も引き続き適正な観光資源の維持管理が求められる。H29の花火大会は緑化フェア会場となる陸上競技場の工事を中断して花火大会の観覧場所にするため、安全対策等これまで経験したことのない対応が求められる。また、H30～31は陸上競技場が改修工事のため、花火大会の観覧場所使用できず、大幅に観覧場所が減ることから、実施方法の検討が必要である。
29年度の 取組	・八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備	30年度の 計画	・八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	観光資源情報の活用										事業類型	普及啓発・情報提供・相談				
担当部課	産業振興部観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—	
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	平成28年度(公社)八王子観光協会に対する補助金交付要綱、観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例															
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光協会とともに、市内の多岐にわたる魅力を市外及び海外に発信することによる来訪者の増加、またおもてなしの向上により、リピーターが増加し、市内が賑わいにあふれ活力に満ち溢れている状況を目指す。															

行政コスト計算書

(単位 円)

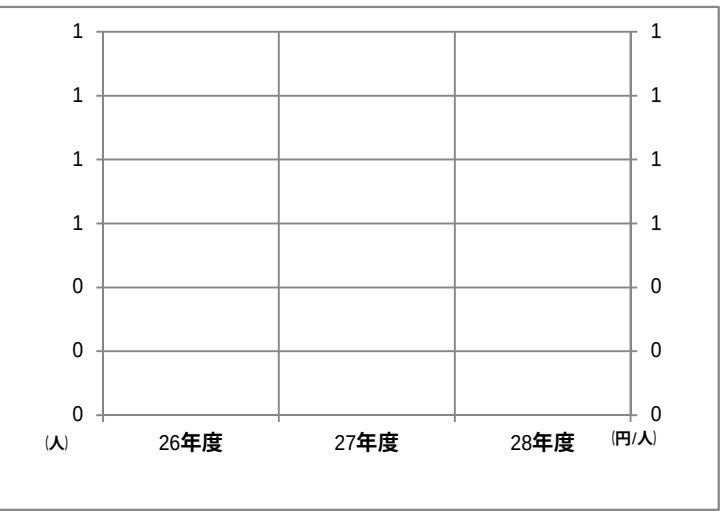
勘定科目			28年度	勘定科目		28年度	
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	9,451,493	経常収入	市税	0
			賞与等引当金繰入額	765,307		保険料	0
			退職手当引当金繰入額	2,089,355		国庫支出金	0
			その他	0		都支出金	0
		小計	12,306,155	分担金及び負担金		0	
		物件費等	物件費	203,635		使用料及び手数料	558,582
			維持補修費	0		繰入金	0
			減価償却費	197,457		その他	468,328
			その他	0		小計	1,026,910
		小計	401,092	経常収支差額 (A)		△ 41,293,475	
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0		
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0		
		その他	0	特別収支差額 (B)	0		
		小計	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 41,293,475		
	小計	12,707,247	一般財源調整額 (D)	0			
移転費用			29,613,138	一般財源充当額 (E)	40,268,111		
小計			42,320,385	再計 (C) + (D) + (E)	△ 1,025,364		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	インフォメーションセンターの管理運営 [25,296,315円]	高尾山麓駐車場使用料 [558,582円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.92人	1.27人	1.29人	0.02人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.92人	1.27人	1.29人	0.02人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	単位当たりコスト	—	—	—	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	観光ガイドマップの見直しや増刷、観光案内所の充実、外国へのPR、フィルムコミッション等を行い八王子の魅力の発信を行う。	27年度末時点 の課題と対応	観光ガイドマップの見直しがなく、目新しさに欠ける等の課題がある。また、PRキャラクターを使用したPR方法も範囲を広げるなど課題である。
			解決
主な 活動実績	・フィルムコミッション、観光大使などを活用した本市の観光PRを実施 ・日本への来訪者の多い海外の国及び市内外への観光PRを実施 ・市内3か所の観光案内所での来訪者に対するおもてなしを実施		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	市及び観光協会で行う市内外へのPRに加え、観光PR特使を活用し、本市のPRを波及的に行った。
----	--

今後の取組

29年度 目標	市内外に効果的に、魅力ある観光情報を発信できており、本市の知名度が向上し、観光客が増加している。観光客数 年間800万人	28年度末 時点の課題	観光ガイドマップの見直しは行ったが、目新しさに欠ける等の課題がある。また、PRキャラクターを使用したPR方法も範囲を広げるなど課題である。
29年度の 取組	観光ガイドマップのリニューアルや増刷、観光大使・観光PR特使と連携したPRの充実、また、外国人観光客誘致に向けたPRグッズの作成配布、フィルムコミッション等を行い八王子の魅力の発信を行う。	30年度の 計画	観光ガイドマップのリニューアル、観光案内所の多言語対応の充実、外国への八王子の魅力の発信の充実、観光PR特使と連携したPRの充実、PRキャラクターを使用する等魅力の発信を行う。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	一般観光の推進										事業類型	イベント				
担当部課	産業振興部観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—	
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	平成28年度(公社) 八王子観光協会に対する補助金交付要綱、八王子市いきいき産業基本条例															
事業目的 (最終的に目指す状態)	観光産業振興プランの主体的な担い手である(公社) 八王子観光協会の人件費の一部を補助し、本市と相互に連携することで、観光客の誘致を促進し、本市の観光振興を図る。															

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目				28年度		勘定科目				28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	職員給与費		3,590,103	経常収入	市税	市税		0	
			賞与等引当金繰入額		290,697			保険料		0	
			退職手当引当金繰入額		1,010,728			国庫支出金		0	
			その他		0			都支出金		0	
		小計			4,891,528			分担金及び負担金		0	
	業務費用	物件費等	物件費		3,688,730		使用料及び手数料	使用料及び手数料		0	
			維持補修費		0			繰入金		0	
			減価償却費		0			その他		1,575,794	
			その他		0			小計		1,575,794	
		小計			3,688,730		経常収支差額 (A)			△ 44,886,464	
	その他の業務費用	支払利息	支払利息		0		特別費用			0	
			徴収不能引当金繰入額		0		特別収入			0	
			その他		0		特別収支差額 (B)			0	
		小計			0		本年度収支差額 (A) + (B) = (C)			△ 44,886,464	
	小計			8,580,258			一般財源調整額 (D)			0	
移転費用			移転費用		37,882,000		一般財源充当額 (E)			44,148,979	
小計			小計		46,462,258		再計 (C) + (D) + (E)			△ 737,485	

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金 (人件費) [37,672,000円]	

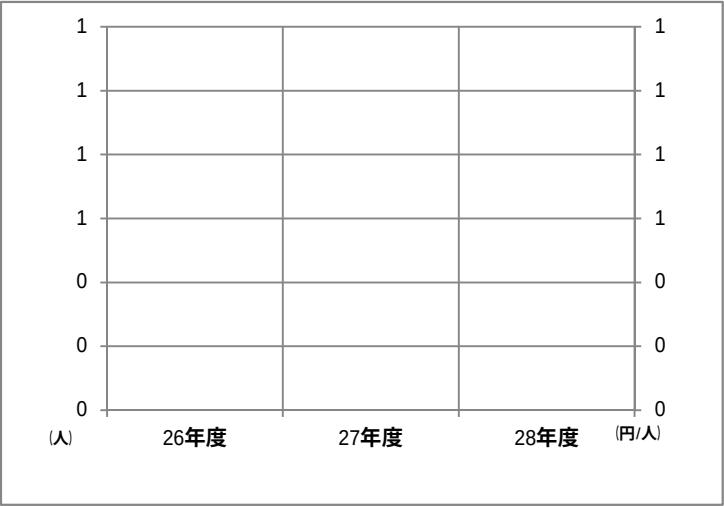
事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.34人	0.39人	0.49人	0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.34人	0.39人	0.49人	0.10人

指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b－a)
①	単位当たりコスト	—	—	—	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

利用状況・コストの推移



事業実績

28年度 目標	観光協会、商工会議所、市が新たな組織への議論を十分に行い、役割分担を明確にして新組織でMICEを含む観光振興が推進できる状態とする。	27年度末時点 の課題と対応	観光関連諸団体との関係の必要性も見極め検討する
			解決
主な 活動実績	MICE推進組織と現在の（公社）八王子観光協会の事業を統合し、新たな観光振興を図るため、事業の整理等、関係機関との連携のもと、より効果的・効率的な観光振興策を推進に向け調整を行った。また、関連団体等の連携を深め今後あらたな展開に結びつけるため、北条五代観光推進協議会では、北条緑の場所を回るスタンプラリーを実施するなど市域を超えた交流人口の増加や、北条の大河ドラマ化に向けた活動を行った。さらに、関東観光広域連携事業推進協議会に加盟し、市町村などの行政及び観光関連事業者などによる外国人観光客の受入環境整備の推進及び関東の国際的な観光認知度の向上を図った。		
28年度評価	達成	次年度の展開	改善

改善・改革の取組

内容	MICE誘致に向けた新組織や観光関連業者等との連携を推進し、関東観光広域連携事業推進協議会に加盟し、市町村などの行政及び観光関連事業者などによる外国人の受入環境整備の推進及び関東の国際的な観光認知度の向上を図っている。
----	---

今後の取組

29年度 目標	発展的改組を行った八王子観光コンベンション協会とともに、ビジネス観光を含めた観光推進を行うとともに、広域観光の拠点地域として他市等の連携を図り、観光客の周遊を目指す。	28年度末 時点の課題	観光関連諸団体との関係の必要性も見極め検討する
29年度の 取組	八王子観光コンベンション協会のビジネス観光や一般観光の後押しを行うとともに、広域観光や北条氏などの既存のツールの磨き上げを行う。	30年度の 計画	八王子観光コンベンション協会や関連団体とともに、磨き上げたツールを活用し、東京オリンピックに伴う海外及び市外からの観光客の誘致を行う。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	都市活性化										事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部 観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	平成28年度活力ある都市づくり推進事業補助金交付要綱、八王子市いきいき産業基本条例															
事業目的 (最終的に目指す状態)	「ファッション都市・八王子基本構想」をもとに、商工会議所が中心となって行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を支援し、中心市街地を主軸とした、本市の活性化を図る。															

行政コスト計算書

(単位 円)

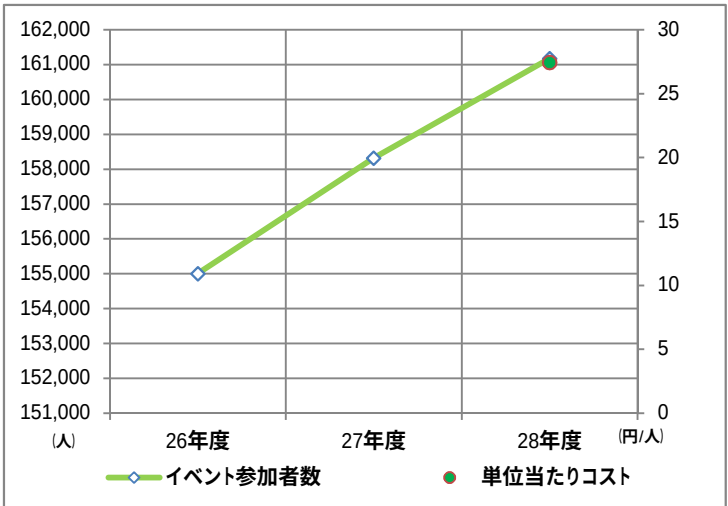
勘定科目			28年度	勘定科目			28年度
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	1,831,685	経常収入	市税	0
			賞与等引当金繰入額	148,315		保険料	0
			退職手当引当金繰入額	439,521		国庫支出金	0
			その他	0		都支出金	0
		小計	2,419,521	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	0	使用料及び手数料		0	
		維持補修費	0	繰入金		0	
		減価償却費	0	その他		0	
		その他	0	小計		0	
	その他の業務費用	支払利息	0	経常収支差額 (A)		△ 4,419,521	
		徴収不能引当金繰入額	0	特別費用	0		
		その他	0	特別収入	0		
		小計	0	特別収支差額 (B)	0		
	小計	2,419,521	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 4,419,521			
	移転費用			2,000,000	一般財源調整額 (D)	0	
	小計			4,419,521	一般財源充当額 (E)	4,135,346	
				再計 (C) + (D) + (E)	△ 284,175		

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳		

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.06人	0.06人	0.25人	0.19人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.06人	0.06人	0.25人	0.19人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	イベント参加者数	155,000	158,314	161,171	2,857
	単位当たりコスト	—	—	27	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	産官学民一体となって魅力あるイベントが企画・開催されており、まちなかが多くの人でにぎわい、地域を活性化する。 ファッション都市協議会主催のイベント参加者数16万人	27年度末時点 の課題と対応	担当所管の見直し
			未解決
主な 活動実績	・花と緑のまちづくりフェア2016:20,000人 ・八王子夏の風物市(あさがお市):35,000人 ・Tシャツデザイン画100選1,171点(応募者) ・全国大陶器市:42,000人 ・八王子メッセ「街道市」:63,000人		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	
----	--

今後の取組

29年度 目標	産官学民一体となって魅力あるイベントが企画・開催され、まちなかが多くの人でにぎわい、地域を活性化する。	28年度末 時点の課題	担当所管の見直しや、市外からの来訪者を集客するためのPR方法の見直しが必要
29年度の 取組	中心市街地活性化を主とする各種イベント(花と緑のまちづくりフェア、Tシャツデザイン画100選、八王子 夏の風物市、八王子メッセ「街道市」)等の開催に要する経費の一部を補助し、運営の支援を行う。さらに、100周年事業との連携を図るとともに、中心市街地の所管となる拠点整備部との連携を検討する。	30年度の 計画	本来の担当所管への移行を行う。

事業概要

事務事業評価シート (平成28年度事業)

事務事業名	新たな観光資源の整備										事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部 観光課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—	
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	平成28年度八王子フォトロゲイニング滝山負担金交付要綱、平成28年度観光産業振興補助金交付要綱、観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例															
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の新たな観光産業の魅力を発掘し、来訪者の誘致及びにぎわいの創出を促す。															

行政コスト計算書

(単位 円)

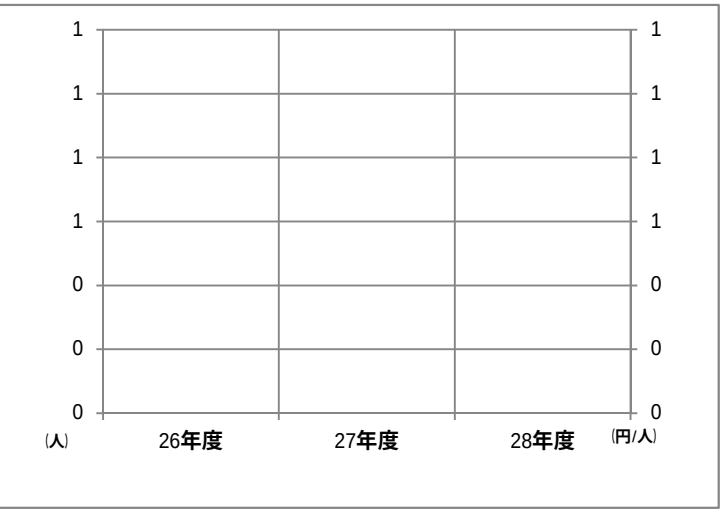
勘定科目			28年度	勘定科目			28年度	
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	6,081,194	経常収入	市税	0	
			賞与等引当金繰入額	492,408		保険料	0	
			退職手当引当金繰入額	2,124,388		国庫支出金	0	
			その他	0		都支出金	510,800	
		小計	8,697,990	分担金及び負担金		0		
		物件費等	物件費	4,099,744		使用料及び手数料	0	
			維持補修費	0		繰入金	0	
			減価償却費	0		その他	1,859,321	
			その他	0		小計	2,370,121	
		小計	4,099,744	経常収支差額 (A)		△ 15,832,455		
	その他の業務費用	支払利息	0	特別費用	0			
		徴収不能引当金繰入額	0	特別収入	0			
		その他	25,770	特別収支差額 (B)	0			
		小計	25,770	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 15,832,455			
	小計	12,823,504	一般財源調整額 (D)	0				
	移転費用			5,379,072	一般財源充当額 (E)			17,833,001
	小計			18,202,576	再計 (C) + (D) + (E)			2,000,546

	経 常 費 用	経 常 収 入
28年度 主な内訳	八王子フードフェスティバル補助金 [2,000,000円] 体験学習フェスティバル補助金 [1,879,072円] 八王子フォトロゲイニング滝山負担金 [1,500,000円]	(滝山) 都補助金 [510,800円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.15人	0.26人	0.83人	0.57人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.15人	0.26人	0.83人	0.57人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	26年度	27年度 (a)	28年度 (b)	対前年度 (b - a)
①	単位当たりコスト	—	—	—	—
②	単位当たりコスト	—	—	—	—
③	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

28年度 目標	地域住民や事業者が参画し、滝山城跡を中心とした周辺地域の観光資源を活かした観光振興が効果的に図られている。また、観光産業振興事業によるインタープリテーション事業びフードフェスティバル事業を開催し、本市の食及び体験を通じた自然や歴史等の魅力を発信する。	27年度末時点 の課題と対応	インタープリテーション事業やフードフェスにおける運営費
			解決
主な 活動実績	・市内北部の加住地域を舞台に滝山三城（滝山城跡・高月城跡・戸吹城跡）などの観光スポットを周遊するイベントとしてフォトロゲイニング大会を開催したほか、滝山三城のジオラマやパンフレットを作成するなど、加住地域の観光資源の魅力発信に努め、賑わいを創出した。 ・八王子の食の魅力を発信するフードフェスティバルを実施し、3日間で13,000人の来場者で賑わった。 また、平成26年度に都事業で行ったインタープリテーション事業の結果を受け、平成27年度は市制100周年記念イベント及び前年のプレイベントとして行う「体験楽習フェスティバル」準備会により、28年度実行委員会を組織し、「体験楽習フェスティバル八王子2016」を開催した。市内21会場に自然・歴史・美術など34プログラムを集め、2日間でおよそ2,000人の来場者が訪れた。 ・高尾山応援基金設立		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	
----	--

今後の取組

29年度 目標	・平成29年4月に「続日本百名城」に認定された国史跡・滝山城跡をはじめ、加住地域の観光資源のさらなる魅力の発信に努める。 ・市制100周年にからめ、都市緑化フェア会場でのフードフェスの開催や、体験楽習フェスティバルを開催し、本市の食や歴史文化等の魅力の発信に努める。	28年度末 時点の課題	体験楽習事業コンテンツの決定が遅れたことにより、パブリシティ等で十分な周知ができなかった。
29年度の 取組	・フォトロゲイニング大会の実施 ・フードフェスティバルの開催 ・体験学習フェスティバルの開催	30年度の 計画	・フォトロゲイニング大会の実施 ・フードフェスティバルの開催 ・体験楽習フェスティバル八王子実行委員会での新たな事業の展開を検討中。

